

ふじさわ

へいわ かんがえ せんご ねん 平和を 考 える ～戦後80年～

ことは せんご ねんめ 今年(ことし)は戦後80年目にあたります。以前(いぜん)『朝日小学生新聞(あさひしょうがくせいしんぶん)』に日本人(にほんじん)の刺繍作家(ししゅうさか)、石田朝子(いしだあさこ)さんの記事(きじ)が載(の)っていました。石田さん(いしだ)はウクライナの方(かた)と結婚(けっこん)し、長く(なが)現地(げんち)で暮(く)らしています。戦時(せんじ)下の生活(せいかつ)や思い(おも)いをイラストとともにSNSで発信(はっしん)され、記事(きじ)では以下(い)のように述(の)べておられました。



せんそう きゅう はじ 戦争(せんそう)は急(きゅう)に始(はじ)まったのではなく、少し(すこ)ずつ準(じゅん)備(び)されてい(ま)ました。けれど私(わたし)たちは気(き)づきま
せんでした。(中略(ちゅうりやく))みなさんに伝(つた)えたいことがあ(り)ます。周(まわ)りの人(ひと)を大(たい)切(せつ)にして生(せい)活(かつ)して
ほしいのです。その積(かさ)み重(じゅう)ねが実(じつ)、重(じゅう)要(よう)な平(へい)和(わ)活(かつ)動(どう)ではな(い)かと思(おも)っています。戦争(せんそう)の
始(はじ)まりには「この人(ひと)がきらいだ、この人(ひと)は劣(おと)っている」とい(っ)った小(ちい)さな憎(にく)しみや差(さ)別(べつ)があ(り)ま
す。そのよう(な)こと(を)を言(い)ってると、自(じ)分(ぶん)ではな(く)ても、子(こ)どもや孫(まご)の時(じ)代(だい)に大(おお)きな戦争(せんそう)に
なるかもしれま(せ)ん。これ(は)、戦争(せんそう)を経(けい)験(けん)して(る)私(わたし)から(の)忠(ちゅう)告(こく)です。

せんそう おお 戦争(せんそう)で多(おほ)くのかげがえな(い)命(いのち)が失(うし)なれ(て)い(る)報(ほう)道(どう)に心(こころ)が痛(いた)みま(す)。私(わたし)たち(に)でき
ることは、少(すく)ないかもしれま(せ)ん。しか(し)、平(へい)和(わ)を守(まも)る第(だい)一(いつ)歩(ぽ)は、身(み)近(ぢか)な人(ひと)を大(たい)切(せつ)にする・人(ひと)
を憎(にく)ま(ず)、お互(たが)い(が)理(り)解(かい)し合(あ)うよう(に)努(ど)力(りき)する・人(じん)権(けん)を尊(そん)重(じゅう)し合(あ)うこと(で)はな(い)でし(よ)うか。

ねんせい がっき へいわ 5年(ご)生(せい)は1学(がく)期(き)に「平(へい)和(わ)ポ(ポ)ス(ポ)タ(タ)ー」をつくりま(し)た。このポ(ポ)ス(ポ)タ(タ)ーは富(とん)田(だ)林(りん)市(し)で毎(まい)年(ねん)8月(がつ)に
かいさい へいわ かんが せんそうてん けいじ だいいょうしゃ し ないぜんしょうがつこう ねんせい
開(かい)催(さい)さ(れ)る「平(へい)和(わ)を 考(かん) える戦争(せんそう)展(てん)」で掲(か)示(じ)さ(れ)ま(す)(代(だい)表(ひょう)者(しゃ))。市(し)内(ない)全(ぜん)小(しょう)学(がく)校(こう)の5年(ご)生(せい)が、
ポ(ポ)ス(ポ)タ(タ)ー制(せい)作(さく)を通(とお)して平(へい)和(わ)につい(て)考(かん) える機(き)会(かい)にもな(っ)てい(ま)す。

こうちょう さかうえ さちこ
校長 阪上 佐智子

しかく なか こ よ
◎四(しかく)角(なか)の中(こ)は、子(こ)どもたち(も) 読(よ)んでくだ(さ)いね。

がっき ひと
1学(がく)期(き)をふりかえ(っ)て、で(き)た人(ひと)は ○をつ(つ)けま(し)よう。はな(な)まる🌸です。

🌸 () えが(が)お(お)で あ(あい)さ(さ)つ (つ)しま(ま)した。

🌸 () 交(こう)通(つう)ル(ル)ールを (を) ま(ま)も(も)りま(ま)した。